

地域が支える  
舟渡小の教育

令和7年12月発行  
No.98号



HP開設  
学校も町も  
行事日程を  
全部載せます！

板橋区立舟渡小学校 学校支援地域本部

# 学校支援ボランティア情報

地域コーディネーター運営委員 広報担当

## 5年生 稲刈り・精米・調理実習

5年生は10月28日にピオトープ周辺に置かれたプランターと20リットル用バケツの稲、各クラス16個の稲刈りをしました。普通田んぼでは使わない学校にある稲刈り用鎌と剪定ばさみで、工夫して刈り取りました。

11月20日には、各クラスが2時間を使い精米を行いました。学校には脱穀機が無く手作業で、ここでも各自工夫をして脱穀の作業を終わらせました。モミとモミ殻と選別する機械も手動で一生懸命回し風を代わる代わる送り、モミだけにしてから精米機で精米しました。

7か月かけた作業で、400g弱の白米ができあがり、12月4日5日に炊飯の実習でみそ汁と一緒に作り、試食しました。稲を植えてから食べるまでを体験し、お米1粒1粒が大切なんだと感じてくれたようです。私が担当している学童擁護の日の下校時に「お米美味しかったよ」と声をかけてくれる5年生が多くいました。大変な思いをしてできた物を食べることが、美味しさにつながったと私は強く感じました。(地域ボランティア 増山 新一)



## 10月読書月間読み聞かせ



秋の読書月間に合わせて、地域の方々に1・2・3年生向けの本の読み聞かせをお願いしました。普段から他のボランティア活動にも積極的にご参加いただいている田中さん、秋山さん、久保田さん、清水さん、澤田さんに、読み聞かせの日程をお伝えしたところ、すぐに快くご承諾いただきました。

久しぶりの地域の方々による読み聞かせに、子どもたちもとても興味深く耳を傾けていました。地域の皆さまのご協力が、子どもたちに本を好きになってもらうきっかけとなることを願いながら、私も心地よく本の読み聞かせを楽しませていただきました。(地域コーディネーター 江藤 睦実)

## 5年生 学習発表会 準備

5年生の劇で使う猟銃と、6年生の劇のキャンプファイヤーの薪を地域ボランティアの皆さんと一緒に作成しました。猟銃は銃身部分をキッチンペーパーの芯を繋げたものや、カレンダーを何枚も重ねて丸めたものに黒ビニールテープを貼って作ります。グリップの部分はダンボールを重ねて銃の持ち手の形に切り取り、木目調のシールを貼り、銃身と合体させました。続いて、6年生の劇中で使われてたキャンプファイヤーの土台となる薪を作ります。ダンボールをぐるぐる巻きにすると、木に見えるのでそれを互い違いに積み重ねて薪にしました。発表会当日、5・6年生の劇中で作成したものが使われているのを見て嬉しくなりました。子供達が放課後集まって、大道具を作る様子も見学できて楽しかったです。



図工が大好きな私にとってはひたすら楽しいボランティアでした。またこのようなお手伝いがあれば誘ってください。

(保護者ボランティア 増川 夏子)

## しゃべり場テラス



校舎の片隅から、本格コーヒーの香りが漂う土曜…自分の子どもが通う頃には、将来そんなことが起こるなんて思いも奇らなかった。ボランティアを長く続けてきて、その手伝いができて、今幸せを感じています。コーヒーを豆から挽いて美味しい一杯を入れる…それはまだ自分には難しいのですが、開店前の準備をしたり、コーヒーのトレイを運んだり…と、アルバイト気分です。保護者の皆様には、時間の許す限り、ホッと一息ついて帰ってほしいです。ぜひ、一度お立ち寄りください。（地域ボランティア 清水 幸子）

## 4年生 荒川知水資料館見学 引率



11月14日4年生と荒川の下流にある荒川知水資料館に徒歩で見学に行ってきました。現地で知水資料館の人から荒川に関するお話を聞き勉強し帰りは船で水上から荒川を登りながら、無事戸田橋の船着き場に到着し学校へ帰ってきました。

子どもたちには貴重な体験と学びができた1日でした。ありがとうございました。

（学校支援地域本部長 山崎 英司）



## 3年生 消防署見学 引率



消火栓などをチェックしながら、歩いて20分くらいの移動でした。消防署では、24時間体制でのお仕事内容、消防車の使い方、火事の原因など、日頃伺えないような貴重なお話を聞かせていただき、私も一緒に学ばせていただきました。寒い日でしたが、みんなよく頑張りました！

（地域ボランティア 片山 真由美）



## 6年生 e-boat 体験付き添い

11月13日、6年生と荒川へe-boat体験に行ってきました。Eボートの「E」はExchange(交流)やEasy(簡単)など様々な意味を持つようですが、今回の場合はEmergency(緊急用)でしょう。地震で戸田橋が破損した際を想定すると確かにボートの出番かもしれません。Eボートは浮力や推進力が優れているようで、子どもたちはあっという間に対岸まで漕ぎ行ってしまいました。見ていると緊迫感というよりはEnjoyという感じでしたが(笑)。水質についても学び、実りある時間でした。

荒川は住民に潤いをもたらす反面、水害なども隣り合わせの存在です。子どもたちが防災の意識を強く持ち地域の大人を引っ張ってくれると嬉しいです。

今回の体験は国土交通省が絡んだ全国初の試みだったとのこと。ぜひ来年以降も継続し、舟っ子が荒川への理解を深める契機になればと思います。

（地域コーディネーター 高橋 慶太）



## デイキャンプ ふなっこクラブ



舟っ子デイキャンプでは花火の担当として、仕入れから当日の流れまで準備を進めました。

手持ち花火や噴き上げ花火、ナイアガラや火文字花火と盛りだくさんで用意してみました。

初めての試みで皆さまに楽しんでいただけるか当日まで緊張しておりましたが、大きなトラブルもなく無事に終えることができ、ほっとしております。

ご来場くださった皆さまには、少しでも心に残るひとときを過ごしていただけていたら幸いです。（舟っこクラブ保護者ボランティア 水木 泰世）